

2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月15日

上場会社名 株式会社キャンディル 上場取引所 東  
 コード番号 1446 URL https://www.candeal.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 晃生  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 藤原 泉 (TEL) 03-6862-1701  
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日 配当支払開始予定日 2019年6月17日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	6,827	7.8	353	26.9	353	42.3	197	26.3
2018年9月期第2四半期	6,334	—	278	—	248	—	155	—

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 197百万円( 26.6%) 2018年9月期第2四半期 155百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	38.93	37.57
2018年9月期第2四半期	32.49	—

(注) 1. 2017年9月期第2四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、2018年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2018年9月期第2四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、新株予約権残高は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	7,404	3,119	42.0
2018年9月期	6,742	2,856	42.1

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 3,108百万円 2018年9月期 2,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	5.00	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	10.3	485	20.1	440	27.5	218	27.2	43.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期2Q	5,145,900株	2018年9月期	5,028,200株
② 期末自己株式数	2019年9月期2Q	一株	2018年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期2Q	5,062,501株	2018年9月期2Q	4,800,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(追加情報)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復が継続しました。消費は、雇用環境の改善や株高による資産効果などを背景に持ち直し、設備投資においては、生産の回復や企業収益の改善に加え、人手不足に対応するためのIT投資などの拡大を背景に底堅い動きが続いています。

海外経済は、総じて拡大傾向が続いています。米国・欧州ともに、良好な雇用環境や消費者マインドの改善を背景に消費が底堅く推移し、新興国では、中国経済が引き続き堅調なほか、他の新興国も緩やかな回復が続いています。

当社グループ事業に関係の深い住宅業界におきましては、国土交通省発表による新設住宅着工戸数は2018年4月～2019年3月累計で前年同期比100.7%と微増し、分譲戸建については前年同期比で105.1%、分譲マンションも前年同期比で110.5%と増加しており堅調に推移しました。商業施設などの建設業界におきましては、東日本大震災復興関連事業や国土強靱化取組による各種インフラの耐震補強事業、東京オリンピック・パラリンピックに伴うインフラ整備など依然として堅調に推移しています。

このような状況のもとで、当社グループは、「世界に誇れる独創的建物サービスで社会と感動を分かち合う」という当社グループ理念に基づき、持続的な事業の成長とさらなる企業価値の向上に向け活動を強化しております。また、当社グループビジョン「全ての建物にキャンディル」の実現に向けて、2016年に閣議決定された「住生活基本計画」に沿ったサービスの拡充と「お客様のニーズにあった新商品開発に取り組み、住宅関連サービス及び商業施設関連サービスの拡充等、売上拡大に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,827,481千円（前年同期比107.8%）、営業利益は353,929千円（前年同期比126.9%）、経常利益は353,193千円（前年同期比142.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は197,071千円（前年同期比126.3%）となりました。なお、当社では組織再編及びM&Aの実施に伴い発生したのれん償却費を販売費及び一般管理費に96,111千円計上しており、これを加えたのれん償却前経常利益は449,305千円（前年同期比130.5%）、のれん償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は293,183千円（前年同期比116.3%）となります。

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントとしておりますが、サービス分野別の状況は以下のとおりです。

#### ① リペアサービス

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心としたリペアサービスを提供しておりますが、同社のリペアサービスは大口顧客の受注が堅調に推移した結果、売上高は1,931,146千円（前年同期比106.8%）となりました。株式会社キャンディルテクトは主に集合住宅を中心としたリペアサービスを提供しておりますが、分譲マンションの竣工数が前年同期比で大きく伸長した結果、同社のリペアサービスの売上高は657,795千円（前年同期比109.6%）となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間におけるリペアサービスの連結売上高は2,588,941千円（前年同期比107.5%）となりました。

#### ② 住環境向け建築サービス

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心とした定期点検やリコール対応を提供しており、同社の住環境向け建築サービスの売上高は1,172,578千円（前年同期比103.2%）となりました。株式会社キャンディルテクトは主に集合住宅を中心とした検査サービスや内覧会運営サービス、リコール対応を提供しており、同社の住環境向け建築サービスの売上高は480,747千円（前年同期比100.3%）となりました。株式会社キャンディルデザインは北海道内集合住宅居室の設計変更を中心とした施工サービスを提供しており、同社の住環境向け建築サービスの売上高は75,106千円（前年同期比77.7%）となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における住環境向け建築サービスの連結売上高は1,728,433千円（前年同期比100.9%）となりました。

#### ③ 商環境向け建築サービス

株式会社キャンディルテクトは主に商業施設の内装施工サービス、組立サービス、揚重サービスを提供しており、特にホテルや商業施設の内装施工サービス及び組立サービスの受注が伸長したことから、当第2四半期連結累計期間における商環境向け建築サービスの連結売上高は2,129,686千円（前年同期比118.2%）となりました。

## ④ 商材販売

株式会社キャンディルデザインは、補修材料を中心とした販売サービスの提供と北海道を中心に高級カーテンなどのインテリア商材の販売サービスの提供を行っております。補修材料の販売が堅調に推移する一方、インテリア商材の受注が落ち込んだことから、当第2四半期連結累計期間における商材販売の連結売上高は380,420千円（前年同期比92.0%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は7,404,927千円となり、前連結会計年度末に比べ662,744千円の増加となりました。

流動資産は3,953,755千円となり、前連結会計年度末に比べ700,252千円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が367,757千円増加したこと、受取手形及び売掛金が308,793千円増加したことなどによります。

固定資産は3,451,171千円となり、前連結会計年度末に比べ37,508千円の減少となりました。これは、主にのれんが96,111千円減少したこと、繰延税金資産が32,525千円増加したことなどによります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は4,285,813千円となり、前連結会計年度末に比べ399,664千円の増加となりました。

流動負債は2,785,373千円となり、前連結会計年度末に比べ500,039千円の増加となりました。これは、主に未払法人税等が159,468千円増加したこと、賞与引当金が67,749千円増加したこと、未払費用が58,444千円増加したことなどによります。

固定負債は1,500,439千円となり、前連結会計年度末に比べ100,374千円の減少となりました。これは、主に長期借入金が100,000千円減少したことなどによります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,119,113千円となり、前連結会計年度末に比べ263,079千円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が197,071千円増加したこと、資本金が34,858千円増加したこと、資本剰余金が34,858千円増加したことなどによります。

## (自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は42.0%（前連結会計年度末比0.1ポイント下落）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は1,634,969千円と、前連結会計年度末に比べ367,757千円の増加となりました。

各活動によるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、420,485千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益353,193千円を計上したこと、売上債権が308,793千円増加したこと、仕入債務が99,579千円増加したこと、のれん償却額96,111千円、賞与引当金が67,749千円増加したこと、法人税等の支払額32,442千円法人税等の還付額27,744千円などによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、17,244千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出11,701千円などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、35,475千円となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入65,912千円、長期借入金の返済による支出100,000千円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2018年11月14日の「2018年9月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,267,212	1,634,969
受取手形及び売掛金	1,713,489	2,022,282
商品及び製品	107,098	76,087
未成工事支出金	18,502	85,832
原材料及び貯蔵品	44,509	32,974
その他	107,189	106,174
貸倒引当金	△4,497	△4,563
流動資産合計	3,253,503	3,953,755
固定資産		
有形固定資産	196,534	200,444
無形固定資産		
のれん	3,075,579	2,979,467
その他	32,697	54,860
無形固定資産合計	3,108,277	3,034,328
投資その他の資産		
繰延税金資産	102,524	135,050
その他	84,754	85,109
貸倒引当金	△3,411	△3,761
投資その他の資産合計	183,867	216,398
固定資産合計	3,488,679	3,451,171
資産合計	6,742,183	7,404,927

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	303,496	403,076
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	26,581	186,050
賞与引当金	155,626	223,375
未払費用	585,395	643,839
その他	414,233	529,031
流動負債合計	2,285,333	2,785,373
固定負債		
長期借入金	1,600,000	1,500,000
その他	814	439
固定負債合計	1,600,814	1,500,439
負債合計	3,886,148	4,285,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	456,852	491,711
資本剰余金	2,176,952	2,211,811
利益剰余金	207,074	404,145
株主資本合計	2,840,879	3,107,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	680	776
その他の包括利益累計額合計	680	776
新株予約権	14,474	10,669
純資産合計	2,856,034	3,119,113
負債純資産合計	6,742,183	7,404,927



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
売上高	6,334,196	6,827,481
売上原価	4,042,914	4,380,902
売上総利益	2,291,281	2,446,579
販売費及び一般管理費	2,012,459	2,092,649
営業利益	278,821	353,929
営業外収益		
受取利息	15	39
受取配当金	47	53
受取保険金	1,001	2,549
助成金収入	—	5,557
固定資産売却益	602	—
その他	798	2,396
営業外収益合計	2,465	10,596
営業外費用		
支払利息	14,987	9,111
支払手数料	16,383	—
その他	1,703	2,221
営業外費用合計	33,074	11,332
経常利益	248,213	353,193
税金等調整前四半期純利益	248,213	353,193
法人税、住民税及び事業税	77,574	188,697
法人税等調整額	14,663	△32,576
法人税等合計	92,237	156,121
四半期純利益	155,975	197,071
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,975	197,071

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	155,975	197,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△239	95
その他の包括利益合計	△239	95
四半期包括利益	155,736	197,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155,736	197,167
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	248,213	353,193
減価償却費	20,651	14,912
のれん償却額	96,111	96,111
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,936	415
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,574	67,749
受取利息及び受取配当金	△62	△92
支払利息	14,987	9,111
有形固定資産売却損益(△は益)	△602	—
売上債権の増減額(△は増加)	△242,872	△308,793
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,717	△24,783
仕入債務の増減額(△は減少)	71,903	99,579
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,221	15,978
その他	23,236	110,840
小計	220,265	434,222
利息及び配当金の受取額	62	92
利息の支払額	△13,624	△9,131
法人税等の還付額	10,516	27,744
法人税等の支払額	△199,379	△32,442
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,841	420,485
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,339	△2,646
有形固定資産の売却による収入	619	—
無形固定資産の取得による支出	△4,766	△11,701
その他	△9,106	△2,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,592	△17,244

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	250,000	—
長期借入れによる収入	1,900,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,508,000	△100,000
リース債務の返済による支出	△1,368	△1,387
新株予約権の買戻しによる支出	△96	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	65,912
財務活動によるキャッシュ・フロー	△359,465	△35,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△357,229	367,757
現金及び現金同等物の期首残高	1,379,948	1,267,212
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,022,718	1,634,969

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。